

決算審査

9月定例会において、決算特別委員会を設置し、9月24日から26日までの3日間にわたり決算認定審査を行いました。

◇総括

平成24年度の一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入が215億608万8千451円で、前年度比0・4%の減、歳出は203億601万3千934円で前年度比0・5%の減となり、歳入歳出とも前年度より減少しています。

◇一般会計

一般会計の歳入は139億782万4千455円で前年度比2・1%の減、歳出は130億884万5千422円で前年度比2・0%の減となっています。

歳入の財源別内訳では、自主財源が99億987万3千0905円で自主財源比率は前年度比0・5%

増の71・5%、依存財源は39億795万1千0550円で依存財源比率は前年度比0・5%減の28・5%となっています。

一方、歳出の性質別内訳では、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は61億093万1千2665円で前年度比4・1%の減、投資的経費は、7億061万4千273円で前年度比98・7%の増となっています。その他の経費は、62億729万8千484円で前年度比5・3%の減となっています。

なお、財政力指数（単年度）については0・97で前年度比0・01ポイント上昇しておりますが、昨年度に引き続き普通交付税の交付団体となっています。

◇特別会計

特別会計の歳入は、75億826万4千996円で前年度比2・9%の増、歳出は、72億716万7千512円で前年度比2・3%の増となっています。

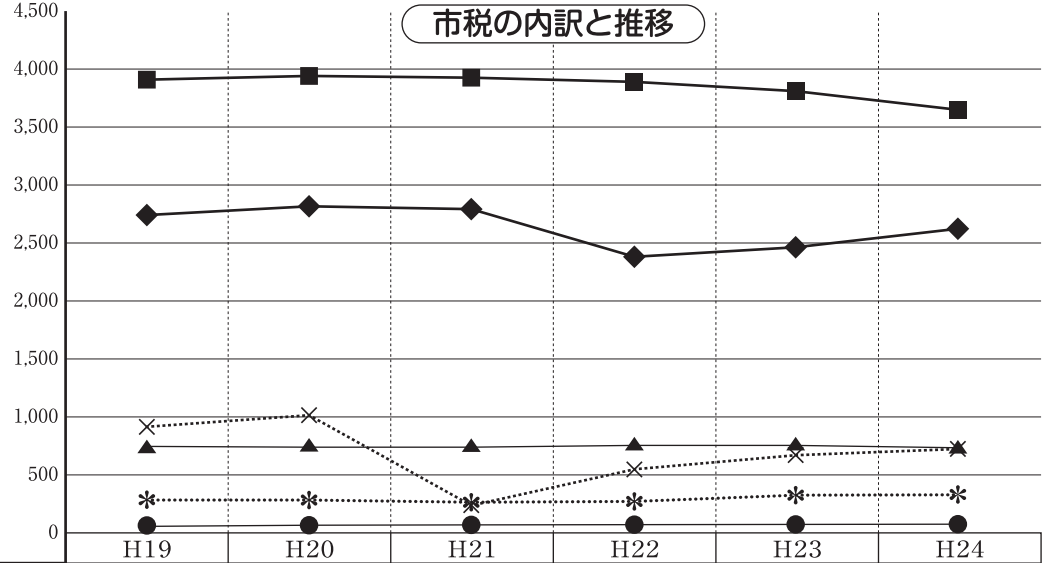
一般会計からの繰入金総額は、11億911万3千773円で前年度比3・4%の増となっています。

◇公営企業会計（水道事業）

経営状況では水道事業収益は、7億503万5千9311円で前年度比0・6%の増、水道事業費用は6億865万8千1782円で前年度比0・1%の減となり、収支差引637万7千529円の純利益を計上しています。（決算額は消費税を含まない金額です。）

給水人口、給水詮数の増加に加え、総給水量のうち料金収入となる総有収水量が増えたことなどにより給水収益が増額しました。一方、支出においては、修繕費や工事請負費等が減少したことで、より純利益を得ることができ、決算状況は良好な状態が保たれております。また、高浜配水場無停電電源装置改修工事や災害時に避難場所など重要な拠点となる優先度の高

市税の内訳と推移



■ 固定資産税	3,920	3,952	3,937	3,901	3,821	3,660
◆ 個人市民税	2,745	2,826	2,796	2,385	2,467	2,628
▲ 都市計画税	733	747	744	757	757	730
* 市たばこ税	286	283	264	271	325	331
× 法人市民税	914	1,015	239	547	671	724
● 軽自動車税	64	66	69	71	73	75

※ 出典：各年度主要施策成果説明書 単位：百万円

い給水施設への配水管の耐震化を実施するなど市民生活の基盤である飲料水の安定的な供給に努めております。